

平成29年度 担い手との意見交換実施状況

滋賀県農林漁業担い手育成基金

No	月日	場所	会議等名(出席者数)	内容、担い手からの主な意見	対応方針	参集者
1	4月2日	高島市	法人構成員、地権者との意見交換	機構活用のメリットとその集積手続について	経営効率化のための集積・集約と貸借手続の確認を行う。	法人構成員、地権者、機構
2	4月10日	彦根市	担い手農家との個別意見交換	農地中間管理機構の仕組み及び利用方法について	農地中間管理事業について、概ね理解をしていただき、今後活用をする。	担い手農家、機構
3	4月10日	栗東市	担い手農家との個別意見交換	同じ組織をいくつも作っていることに不信がられている。(行政不信)	時間をかけて対応する。	担い手農家、機構
4	4月25日	東近江市	農地中間管理事業、人・農地プラン等に関する説明会および意見交換会(200名)	農地中間管理事業および機構集積協力金の概要 人・農地プランの策定に向けて	関係機関が連携して人・農地プランの話し合いの機会を設け、農地中間管理事業を活用した集積・集約化を推進。	農業組合長、担い手農家、集落営農法人、県、市、JA、機構
5	5月13日	米原市	農組役員との意見交換(11名)	今後の農地集積計画と人・農地プランの見直しについて	地域での人・農地プランの話し合いに積極的に参画し、プランの見直しを働きかける。	農組役員、機構
6	5月25日	近江八幡市	地区営農組織会議(14名)	広域的な人・農地プランの見直しについて	農地が交錯している中で将来を見据えた広域的な取り組みとして集積・集約化を目指す。	集落営農組織リーダー、県、市、JA、機構
				集落を越えた集積・集約化について	手法として、若手農業者の懇談会開催や集落を越えた話し合いの場づくり。	
				重点実施区域の広域的な設定について		
7	5月26日	愛荘町	法人との個別意見交換	農地中間管理機構の仕組み及び利用方法について	農地中間管理事業について、概ね理解をしていただき、今年度より集落の農地の集積を機構を通じて実施している。	法人役員、町、JA、機構
8	5月27日	米原市	農組役員と担い手との意見交換(15名)	今後の集約化に向けた計画づくりについて	担い手間の利用権交換による集約化等に向けた話し合いを行う。	農組役員、担い手農家、機構
9	5月29日	野洲市	農地中間管理事業の説明会(全組合長)	昨年からの案件である変動賃料変更制を早く取り入れてもらいたい。	他府県の例を参考にしながら、次年度からできるように検討する。	農業組合長、県、市、機構
10	6月1日	東近江市	集落役員との意見交換(7名)	集落内の集積・集約の取り組みについてどのように対応するのか、個別農家と集落営農法人のかかわりを如何にすすめるのか。	人・農地プランの見直し、農地中間管理事業による集積・集約、農地耕作条件改善事業等について、集落内での理解や話し合いを進める。	集落役員、機構
11	6月6日	米原市	集落組織向け説明会(13名)	中間管理機構事業の説明と今後の集約化に向けた計画づくりについて	地域での人・農地プランの話し合いに積極的に参画しプランの見直しを働きかける。	農組役員、機構
				賃借料の決定と水利費について	賃借料と水利費のバランスを図る。	
12	6月17日	米原市	農組役員との意見交換(13名)	機構事業の活用推進に係る事務手続等について	農組役員が個別に配布、回収、確認することとした。	農組役員、機構
13	6月23日	近江八幡市	担い手合同会議(14名)	県内先進事例の講演や集積・集約のアンケート結果に基づく課題と方向について今後、如何に地域の集積・集約化を進めるのか	集落内で課題整理と目指すべき方向の検討をすすめる。 農業委員、土地改良区、自治会等を交えた協議が必要。	農業組合長、担い手農家、県、市、JA、機構
14	6月26日	守山市	担い手および組合長との個別意見交換	受け手を捜しているが、担い手(野菜農家)はこれ以上増やせない。	他の地区の担い手さんに依頼することを了承してもらう。	担い手農家、農業組合長、機構
15	6月26日	高島市	集落役員、担い手との意見交換	改正された機構関連事業の公表内容について	人・農地プランの取組と、機構を活用した将来構想への積極的な参加を働きかける。	集落役員、担い手農家、機構
16	7月6日	高島市	集落役員、担い手との意見交換	今後の農地集積の進め方等について	地域における農業の将来像の話し合いと人・農地プランの見直しを働きかけ	集落役員、担い手農家、市、改良区、機構
17	7月13日	近江八幡市	担い手との懇談会(12名)	集積・集約のアンケート結果に基づく課題整理と話し合い	集落内で課題整理と目指すべき方向の検討をすすめる。	担い手農家、県、市、JA、機構
				今後、如何に集積・集約化を進めるのか	農業委員、土地改良区、自治会等を交えた協議。	
					集積調整組織の設立。	
18	7月27日	長浜市	農事組合法人との意見交換(3名)	大型公共事業用地の提供(協力)に伴う、農用地の再集積について	事業協力を伴う、周辺農用地の再集積と検討を積極的に進める。	法人代表者、機構
19	7月28日	長浜市	集落役員との意見交換(10名)	集落農用地の機構を通じた集積について	機構を活用した将来構想について、集落(人・農地プラン未作成)、市、JAを含めた話し合いを行う。	集落役員、市、JA、機構
20	7月30日	多賀町	農地中間管理事業、人・農地プラン等に関する説明会及び意見交換会	中山間地域の農業、農地を守るのには、関係機関の支援を願いたい。	地域が前向きで事業を推進されるのであれば、支援を考えたい。	自治会役員、農業組合役員、県、町、機構
21	8月8日	長浜市	集落役員と借受希望農家との意見交換(13名)	賃借料の基準について	JAの賃借料設定基準に準じた見直しを行うことを協力で理解願う。	借受希望農家、集落役員、市、JA、機構
				機構事業の活用した農地の集積・集約について	借受希望農家の足並みを揃えるための協議を進める。	
22	8月9日	愛荘町 東近江市	担い手農家との個別意見交換	機構利用時の貸し剥がしについて今後の集積・集約化について	機構の貸付ルールを説明 今後の集約化の必要性を説明	担い手農家、機構
23	8月10日	長浜市	集落役員と借受希望農家との意見交換(13名)	機構を活用した将来構想について、JAを含めた話し合いを行う。	借受希望農家と集落との足並みを揃え、機構事業への取り組みを図る。	借受希望農家、集落役員、市、JA、機構
24	8月19日	東近江市	集落役員との意見交換(8名)	法人設立に伴う集落内の集積・集約の取り組みについてどのように対応するのか	人・農地プラン、農地中間管理事業の理解を促し、集落内での話し合いを進める。	集落役員、機構
25	8月23日	高島市	担い手、耕作者との意見交換	機構関連事業を目標に、機構集積のために何から進める必要があるのか	今後の農地政策に対して集落農地の活用を図るため集落農地の将来ビジョンを話し合う。	集落役員、担い手農家、県、市、機構
26	8月31日	高島市	担い手との意見交換	地域の農地集積に向けて、集落合意が上手く図れるか	危機感の共有と将来のあり方を十分に人・農地プランを活用して話し合う必要がある。	担い手農家、機構
27	9月15日	栗東市	法人立上げ説明会	一次の申込で対応し、11月に法人化を目指す。	協力していく。	法人役員、市、JA、機構
28	9月22日	彦根市	法人・担い手農家向け、農地集約説明会	新しく集落法人を設立したことに伴う、担い手農家との農地の集約について		法人役員、担い手農家
29	10月2日	高島市	担い手との意見交換	リタイア農地引受にあたり、現行制度や地域集積、法人化について知りたい。	機構関連事業の制度と法人化の必要性、人・農地プランでの話し合いを促し	担い手農家、機構
30	10月2日	高島市	集落役員兼耕作者との意見交換	機構関連事業を活用して農地集積活用を図りたい。	機構関連事業の制度と法人化の必要性、人・農地プランでの話し合いを促し	集落役員兼耕作者、機構
31	10月6日	高島市	集落役員と担い手との意見交換	機構事業の活用に向け、地権者への説明について	集積手続書類(申出書、申込書)等の説明を行った。	集落役員、担い手農家、機構
32	10月14日	高島市	農地中間管理事業、人・農地プラン等に関する説明会および意見交換会	地域農地は未整備で受け手がいないのが現状。是非とも、機構関連事業を行いたい。	人・農地プラン、機構集積、ほ場整備事業説明を行い、地域集落の合意形成を図る。	8集落4役員、農業委員、推進委員、県、市、機構

33	10月17日	守山市	担い手との個別意見交換	担い手間の利用権交換による集約化を進めるのはどうしたらいいか。	担い手間の話し合いを通じて機構を活用し、利用権の交換を進め、分散錯圖を解消するよう支援していく。	担い手農家、機構
34	10月27日	高島市	農地中間管理事業、人・農地プラン等に関する説明会および意見交換会	地域農地は未整備で受け手がいないのが現状。是非とも、機構関連事業を行いたい。	人・農地プラン、機構集積、ほ場整備事業説明を行い、地域集落の合意形成を図る。	担い手農家他、農業委員、推進委員、県、市、機構
35	10月28日	高島市	農地中間管理事業、人・農地プラン等に関する説明会および意見交換会	地域農地は未整備で受け手がいないのが現状。是非とも、機構関連事業を行いたい。	人・農地プラン、機構集積、ほ場整備事業説明を行い、地域集落の合意形成を図る。	担い手農家他、推進委員、県、市、機構
36	10月29日	高島市	農地中間管理事業、人・農地プラン等に関する説明会および意見交換会	地域農地は未整備で受け手がいないのが現状。是非とも、機構関連事業を行いたい。	人・農地プラン、機構集積、ほ場整備事業説明を行い、地域集落の合意形成を図る。	担い手農家他、推進委員、県、市、機構
37	11月6日	高島市	担い手との意見交換	集落の担い手対策として、集落営農の法人化も考えたい。	近隣集落の法人化を参考に、集落での合意形成に向けて働きかける。	担い手農家、機構
38	11月7日	高島市	農地中間管理事業、人・農地プラン等に関する説明会および意見交換会	地域農地は未整備で受け手がいないのが現状。是非とも、機構関連事業を行いたい。	人・農地プラン、機構集積、ほ場整備事業説明を行い、地域集落の合意形成を図る。	担い手農家他、農業委員、推進委員、県、市、機構
39	11月8日	高島市	集落役員、担い手との意見交換	集積したいが、担い手がいない。集落農地の今後の活用方法とその手続について。	集落内の法人化の促進、勉強会参加を促す。	集落役員、担い手農家、機構
40	11月18日	高島市	農地中間管理事業、人・農地プラン等に関する説明会および意見交換会	地域農地は未整備で受け手がいないのが現状。是非とも、機構関連事業を行いたい。	人・農地プラン、機構集積、ほ場整備事業説明を行い、地域集落の合意形成を図る。	担い手農家他、推進委員、県、市、機構
41	11月20日	守山市	担い手との個別意見交換	書類などの準備が簡単な円滑化事業に流れる者が多い。もっと期間短縮や簡素化できないか。	国の制度なので事務的にはかなり簡素化はできているが、これ以上の期間短縮は難しい。	担い手農家、機構
42	11月22日	高島市	集落役員、担い手との意見交換	次世代の担い手がいない現状から、機構集積に向けての考え方、取組方について	集落内での法人化を促す。	集落役員、担い手農家、機構
43	11月25日	高島市	農地中間管理事業、人・農地プラン等に関する説明会および意見交換会	地域農地は未整備で受け手がいないのが現状。地域で構想する必要がある。	人・農地プラン、機構集積、ほ場整備事業説明を行い、地域集落の合意形成を図る。	担い手農家他、推進委員、県、市、機構
44	11月28日	高島市	担い手との意見交換	集落での集積合意に、個人的に賛成できない。	過去の課題はそれぞれあっても、現行制度活用から協力を促す。	担い手農家、機構
45	12月3日	高島市	農地中間管理事業、人・農地プラン等に関する説明会および意見交換会	地域農地は未整備で受け手がいないのが現状。是非とも機構関連事業を行いたい。過去の例から実施には体力がある。	人・農地プラン、機構集積、ほ場整備事業説明を行い、地域集落の合意形成を図る。	担い手農家他、推進委員、県、市、機構
46	12月4日	高島市	担い手との意見交換	集落の法人化を進め、集積・集約を進めたい。	人・農地プラン、機構集積を行い、地域集落の合意形成を図るべく、法人化の推進。	担い手農家、機構
47	12月8日	高島市	耕作者との意見交換	集落内の中心経営体となる担い手が、全てリタイアしてしまい、今後の対策を考えないといけない。	集落地権者に現状を訴え、今後の対策を話し合う機会を設けるよう促す。	耕作者、機構
48	12月10日	高島市	農地中間管理事業、人・農地プラン等に関する説明会および意見交換会	地域農地は未整備で受け手がいないのが現状。地域で構想する必要がある。	人・農地プラン、機構集積、ほ場整備事業説明を行い、地域集落の合意形成を図る。	担い手農家他、推進委員、県、市、機構
49	12月15日	高島市	集落役員、担い手との意見交換	地域の集落、単独で機構関連事業の活用は可能か？	機構ではなく、県田園振興課が担当。当地では全体200haで進めないと不可能と聞く、地域全体で取組活用を考えるよう促す。	集落役員、担い手農家、機構
50	12月25日	高島市	集落役員、担い手との意見交換	集落での合意状況報告と今後の集積タイミング等について	関係機関に協力要請を掛けることも重要。基本的には、地域全体の農地のあり方を計画されるよう促した。	集落役員、担い手農家、機構
51	1月12日	大津市	法人、土地改良区との意見交換	機構のメリットが感じられないので、今までの円滑化や相対での利用権設定が多い。行政のサービスが悪い。情報を伝えてくれない。	担い手へのメリットなどを高める取組みになるようPRしていかなければならない。	法人3名、土地改良3名、機構
52	1月16日	高島市	農業組合長との意見交換	次年度就任する上で、今後の地域農地活用のあり方について	現行の機構関連事業の説明と農地行政の方向性、担い手確保の必要性。	農業組合長、機構
53	1月17日	栗東市	担い手との個人意見交換	地元営農組合(法人)との繋がり強化するには。	人・農地プランで話し合いをしていかなければならない	担い手農家、機構
54	1月19日	高島市	農業委員、推進委員、若手担い手との意見交換	実行委員会開催に向け、集積等の協議内容について事前確認	機構関連事業採択に向け5要件の検討の必要性。田園振興課に打診指導の要請等関連機関への協力指導要請を促す	若手担い手農家、農業委員、推進委員、県、機構
55	1月30日	高島市	集落役員、実行委員、推進委員との意見交換	地域農地を活用するための考え方等について	実行委員協議で活用方法を決め、対象集落が合意形成できるように進める。	集落役員、実行委員、推進委員、機構
56	2月20日	高島市	農地中間管理事業、人・農地プラン等に関する説明会および意見交換会	地域農地は未整備で受け手がいないのが現状。地域で構想する必要がある。	人・農地プラン、機構集積、ほ場整備事業説明を行い、地域集落の合意形成を図る。	集落地権者他、推進委員、県、市、機構
57	2月21日	彦根市	法人との個別意見交換	機構関連事業の取組について	未整備農地に対して機構関連事業を実施する場合の問題点について意見交換	法人代表者、機構
58	2月22日	栗東市	担い手との個人意見交換	2月一杯で離農される件について。ハウスの継承について。	耕作者変更をする。	担い手農家、機構
59	2月26日	高島市	耕作者との意見交換	集落で守りたいが、高齢化して次世代の担い手が不在。何とかしたい。	集落内での法人化を目標に、集落内の合意形成を図り、人・農地プラン作成や機構集積を進める。	耕作者、機構
60	3月4日	高島市	地域農業に係る活性化対策勉強会	集落農業を将来に亘り活性させ、不耕作農地を抑制する方法について。先進集落のやり方を学ぶ。	集落農業を将来に亘り活性させる方法について、先進集落のやり方を研修する。	地権者、耕作者(約60名) 県、市、JA、NOSAI、機構
61	3月8日	高島市	集落営農法人役員への説明および意見交換会	法人設立後の経営合理化と収益性向上のため、集落農地をどのように集めていくか。	集落法人の方向性を見出し、現耕作者(担い手)との話し合い、地権者への説明を行うこと。	法人役員、県、市、JA、機構
62	3月12日	高島市	若手担い手との意見交換	地域の担い手が少なくなり、突然リタイアされても受けきれない。計画的に対策を進めたい。	地域内で話し合いを考えている集落ができてきているので、耕作者同士や集落での話し合いを進めるよう要請した。	若手担い手農家、機構